



（なんぶう）  
南風  
【題字】南  
クワ初代理事長

発行所  
鹿児島市田上八丁目  
21番3号  
学校法人 南学園  
鹿児島医療福祉  
専門学校  
TEL (099) 281-9911

### 軸

理事長 南 正義

文部科学省が毎年行っている学校基本調査というものがありません。我々専修学校や大学などが属する高等教育機関の学生状況などを調査しているものですが、令和元年5月1日のデータ速報が発表されました。本校のように専門課程を置く専修学校数は全国で2805校あります。その数は、前年と同数でした。一方、学生数はというと9583人増えました。大学（学部）の学生数も同様に9747人増えました。人数は分野により増減はございますが、本校のように職業実践専門課程を取得している学校においては、様々な情報公開などにより組織の透明性が進んだことや手厚い職業教育の実践が改めて評価されていることを感じます。本校では、外部の方のご意見もいただけるように、数年前から2つの委員会を設置し年に数回会議をしており、学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会です。そこでは、外部の有識者から忌憚りの無いご意見がいただけて、学校運営においてもその内容が反映され、大切なものとなっております。来年の4月からは、国の高等教育の修学支援の新制度もスタートする中で、我々高等教育機関への進学者の更なる増加が期待されております。また、本校では来年の4月から



「放送大学との提携により、希望者は本校に通いながら大学の卒業資格である学士も効率的に取得できる新制度がスタートします。」  
本校が提携しました放送大学では、本校に通いながら5つの資格についてしっかりと職業教育を行うことができることも、放送的に大学でその補完的授業を受講することも可能で、それと同時に、その他の分野においても学生の様々な興味関心に応えられるものとなっております。この制度は、来年の4月に入学する新たな入学生だけでなく、現在の在校生も対応出来るものとなっております。学内の説明会を行いましたところ、多数の学生が参加をして、学士の取得を目指して受講を始めています。本校学生が既に何人もおります。これからは、地域に根ざし地に足の着いた運営と共に、社会環境に柔軟に対応する変化力も持ちながら、邁進していきたくと考えております。

さて、ここ近年顕著に変化していることと言えば訪日外国人の数があげられます。ここ鹿児島においても様々な地域の、そして本邦に多くの外国人の方を見かけるようになり、日本観光光景のデーターによりますと、10年前の日本への外国人訪問者数は、およそ670万人。それが2018年には、およそ3100万人。これは世界各国のその国にきた外国人の人数で、世界第11位、アジアで4位の数字だそうです。今年2019年には3300万人を超える勢いだそうです。なんとこの10年で5倍の人数になりました。日本

の人口がおよそ1億2000万人です。その1/4以上の人数の外国人が日本を訪れたことになり、この国の方でも、海外に興味を持たない方も一定の割合はあります。中には世界の地図の中で、日本がどこか分からない人も沢山います。しかし今の日本は、即位の礼やラグビーW杯そして来行われる東京オリンピックと、今まで関心興味を持たなかった世界の人も、日本を注目しています。この2013年は世界規模のイベントが日本で開催され、絶好のアピールの場でもあるという年になっていきます。よく、グローバルなどと言われますが、何か特別なことをというものはありませぬ。日本人同士でも、人と人との礼節をわきまえた振る舞いをして、信頼関係を築いていくことにおいては、外国の方であるうと何一つ変わりはありません。ひとりでも多く日本を好きになってくれる人が増えたいと思っております。

日本から少しだけ目を離して見ると、東南アジアにおいては、ASEAN経済共同体があり、東南アジア10カ国、人口にして6億人の巨大な経済圏が生まれていまして、東南アジアの各国は、日本の高度経済成長期を思い出させるほど経済発展も目覚しく、ここ数年以内に更に大きな消費大国になっていくものと見られています。日本がこれからそういった国々との様にかかわっていくのか。これからそういった国々の方々と、今まで以上に身近なところで接することが出来る社会となつていく。色々な異なる文化や価値観が接することになります。異なるものがぶつかること、そこにイノベーションが生まれます。これまで接したことのない多様な価値観も生まれてくるでしょう。そんな時代に今の若者は生きていくことになり、グローバル（世界規模の）とローカル（地域に根ざした）の言葉から派生したグローバルという言葉があるそうです。地球規模の視野をもつて考えつつ、必要に応じて地域視点で行動するという

「現在の医療事情」というタイトルで原稿依頼がありました。まず、小生の本分である小児外科・外科領域から始めることにしました。まずは手術創（傷）の大きさ・手指の消毒について説明します。小生が卒業した昭和48年当時、病変部の観察・処理を確実にを行うために、手術を行う際には創は大きく取る（大きく切る）ことを教えられました。そして閉創は傷跡などにあまり頓着しない、縫合に使った糸の痕がはしご段の様にくっきり残る皮膚の縫い方が当たり前でした。大きな傷跡は、皆の前で服を脱ぎたくない、裸で見られたくないなど、心の傷跡にもなりました。しかし、徐々に傷跡が出来るだけ残らない閉創、機能を損なわない皮膚切開を旨とするようになってゆきました。手術創は出来るだけ小さく、そして皮膚のしわに沿ってメスを入れると傷跡が目立たなくなり、さらには臍の輪郭を利用した皮膚切開、脇の下の弧状のしわを利用した皮膚切開などでさらに創痕が目立たなくなっています。創の閉じ方も抜糸が不要な、皮膚面に縫合糸が

ことです。若者には特に、様々なものにふれ、柔軟性を持つて固執することなく、一方で自分の考え方と他人の考え方を積極的にぶつけ合ってほしいと思います。そのことにより、自分の価値観を磨き、自分の軸を持つことは、今まで以上にこれから大切なものになっていくように思います。「和して同ぜず」という先人の言葉があります。これは、日本はもとより、世界に通ずる人にとっての大切な言葉で

「現在の医療事情」というタイトルで原稿依頼がありました。まず、小生の本分である小児外科・外科領域から始めることにしました。まずは手術創（傷）の大きさ・手指の消毒について説明します。小生が卒業した昭和48年当時、病変部の観察・処理を確実にを行うために、手術を行う際には創は大きく取る（大きく切る）ことを教えられました。そして閉創は傷跡などにあまり頓着しない、縫合に使った糸の痕がはしご段の様にくっきり残る皮膚の縫い方が当たり前でした。大きな傷跡は、皆の前で服を脱ぎたくない、裸で見られたくないなど、心の傷跡にもなりました。しかし、徐々に傷跡が出来るだけ残らない閉創、機能を損なわない皮膚切開を旨とするようになってゆきました。手術創は出来るだけ小さく、そして皮膚のしわに沿ってメスを入れると傷跡が目立たなくなり、さらには臍の輪郭を利用した皮膚切開、脇の下の弧状のしわを利用した皮膚切開などでさらに創痕が目立たなくなっています。創の閉じ方も抜糸が不要な、皮膚面に縫合糸が

本報には、医療福祉を担う5つの資格を目指す学生が集っています。学科内だけではなく、他の学科の学生とも交流の機会が幾つもあります。多職種連携の姿が、チーム医療の姿が、ここにはあります。学校としても様々な経験を通して、自分をしっかりと持った素晴らしい職業人になれる機会を充実させ、学生の皆さんの成長をバックアップするよう、日々全力で取り組んで参りたいと思っております。

その愛を社会で具現化しやすい世界は皆さんが今学んでいる医療と福祉の世界であります。そこにはたくさんの方があたたかい手を待ち望んでいるからです。その為の専門知識を学ぶのは当然のことですが、せっかくなのでこの学校に御縁があったわけですから真愛の心と行動もしっかりと人格の根底に根付くよう学んでいただきたいと思います。たとえ泣く日があつたとしても真愛の心を見失わずに生きてゆくとやがてきれいな花が咲くということを人生の先輩たちは教えてくれています。感謝や忍耐の大切さもおのずとその中から生まれ私達を成長させてくれることでしょう。

輝く人生を求めて今日も一歩前進  
その原点は真愛!!

鹿児島大学病院院長を勤められ医学について碩学でいらつしやる高松先生に近年の医療事情についてシリーズで寄稿していただくことになりました。

「現在の医療事情」というタイトルで原稿依頼がありました。まず、小生の本分である小児外科・外科領域から始めることにしました。まずは手術創（傷）の大きさ・手指の消毒について説明します。小生が卒業した昭和48年当時、病変部の観察・処理を確実にを行うために、手術を行う際には創は大きく取る（大きく切る）ことを教えられました。そして閉創は傷跡などにあまり頓着しない、縫合に使った糸の痕がはしご段の様にくっきり残る皮膚の縫い方が当たり前でした。大きな傷跡は、皆の前で服を脱ぎたくない、裸で見られたくないなど、心の傷跡にもなりました。しかし、徐々に傷跡が出来るだけ残らない閉創、機能を損なわない皮膚切開を旨とするようになってゆきました。手術創は出来るだけ小さく、そして皮膚のしわに沿ってメスを入れると傷跡が目立たなくなり、さらには臍の輪郭を利用した皮膚切開、脇の下の弧状のしわを利用した皮膚切開などでさらに創痕が目立たなくなっています。創の閉じ方も抜糸が不要な、皮膚面に縫合糸が

私達はみんな人として生まれ人としての生涯を終える摂理のもとに日々生活をしていきます。人という字はお互いに支え合つて生きる人間本来の姿を表わしていると言われています。その支え合いの中でなくてはならないもの。それは愛。愛は遠い世界の話ではなく、一番身近な家族や学校、職場になくてはならないものであります。自分出来ることでまこと心が行動に結びついていたら大きい小さいもなくそれは尊いことと言えます。

生かされて生きる  
財務部長 森永 淳子

現在の医療事情 — 手術創の大きさと手の消毒 —  
常務理事・相談役  
元鹿児島大学副学長  
元鹿児島大学病院病院長  
高松 英夫

「現在の医療事情」というタイトルで原稿依頼がありました。まず、小生の本分である小児外科・外科領域から始めることにしました。まずは手術創（傷）の大きさ・手指の消毒について説明します。小生が卒業した昭和48年当時、病変部の観察・処理を確実にを行うために、手術を行う際には創は大きく取る（大きく切る）ことを教えられました。そして閉創は傷跡などにあまり頓着しない、縫合に使った糸の痕がはしご段の様にくっきり残る皮膚の縫い方が当たり前でした。大きな傷跡は、皆の前で服を脱ぎたくない、裸で見られたくないなど、心の傷跡にもなりました。しかし、徐々に傷跡が出来るだけ残らない閉創、機能を損なわない皮膚切開を旨とするようになってゆきました。手術創は出来るだけ小さく、そして皮膚のしわに沿ってメスを入れると傷跡が目立たなくなり、さらには臍の輪郭を利用した皮膚切開、脇の下の弧状のしわを利用した皮膚切開などでさらに創痕が目立たなくなっています。創の閉じ方も抜糸が不要な、皮膚面に縫合糸が

心耳  
生かされて生きる  
財務部長 森永 淳子

# オープンキャンパスで先輩が熱く語る 在校生が大活躍

2019年度のオープンキャンパスは5月11日、6月22日、7月27日、8月17日、9月14日に行われ、年度内は3月20日を予定しています。これまでより5月が増え参加者も増えたことで本学への理解も広がりまた深まったようです。

また、新しい試みとして在校生の案内によるキャンパスツアーを実施しました。このように在校生が大活躍したことで参加者に大きな希望を与えてくれたようです。特に、4学科代表の体験発表は聞かざる者の心に響く素晴らしい内容でした。以下に紹介します。



看護学科一年 東 緑

私は今年の三月末まで病院薬剤師として働いていました。なぜ、せつかく薬剤師の資格を持つていたのかと看護師に転職するのかわからず、看護師の職は薬剤師にない魅力があります。

私が転職しようと思ったのは、病棟で薬剤師として働いていた時に医師や看護師と同様に担当患者をもつのですが、その患者が最後の時を迎えられ病院を後にされる時、薬剤師はまず呼ばれません。どうしてだろうという疑問がありました。そんな疑問を抱きつつ薬剤業務を行う中で、自身の気持ち次第に変化していき、より患者(人)に近いのは何よりも看護師だと考えるようになりました。

その思いをもちつつカンボジアでの僻地医療に参加しました。そこで明確になったのは、薬剤師は薬が無いと人に貢献できないが、看護師は周りの環境や物資に左右されず、看護師という人が居れば目の前の人に貢献できる、役に立つことができるという核心とも言える思いです。そして、私は薬剤師から看護師になることを決めました。

私がこの学校を選んだ理由は、助産学科があるからでした。さらに入学してみると、多くの魅力があることがわかりました。同級生は様々な年齢の人が集まり多様な考え方に触れ、自分の考えを改める機会になります。先輩にも色々な経験のもと入学された方がおられ、その先輩の話やアドバイスを聞いて、その先輩の話を聞くことは非常に面白いことです。また、先生方は道徳心を持って、大変根気強く熱心に育てようとしてくださいます。看護師の資格をもち、現場での経験をふまえた先生方の話は大変興味深く、人として尊敬できます。



このように、この南学園には皆さんの成長をサポートしてくれるいわば「土」があります。入学してくださる皆さんを「種」とするならば、この土を利用してどのよう伸びるか次第です。ぜひ、一緒にこの南学園で学びませんか。



歯科衛生学科一年 前田 玲奈

皆さんこんにちは、本日はオープンキャンパスに参加していただきありがとうございます。ごさいます。

さつそくですが、私が歯科衛生士を志したきっかけを話したいと思います。私が歯科衛生士を志したきっかけは、昔から母に言われた教えにありました。「歯は宝物だよ。大切にしよう。」

そして私は中学生の頃、母のように歯の大切さを教えてあげられるような人になりたいと思い、歯科のことを学べる学科のある高校に入学しました。その高校では三年次に三週間に渡る歯科医院実習がありました。実際に臨床で働いている歯科衛生士さんを見て、私もこんな風に直接人に携わる優しい歯科衛生士になりたいと強く思うようになりました。そして、夢を叶える為に進学しようと決意しました。

高校三年生の春に私はこの鹿児島医療福祉専門学校のオープンキャンパスに参加しました。最初はとてもドキドキして緊張してしまいましたが、明るく優しい先輩方が親身になって質問に答えてくださり、また、先生と先生との距離が近く親しくしている姿を見て楽しい雰囲気だと思いき、この鹿児島医療福祉専門学校を受験することに決めました。

そして入学し、半年が経とうとしています。毎日新鮮で、専門知識を身につけるには努力が必要ですが、とても充実した日々を過ごしています。同じ目標に向かって頑張る友人や指導してくださる先生方と一緒にこれからも頑張っていきたいと思っています。今もまだ、進路に悩んでいる方もいると思いますが、他の学科には看護学科、理学療法学科、助産学科とありますのでオープンキャンパスを通して医療・福祉の魅力を知らせてあげたいと思います。またお会いできることを楽しみにしています。



このように、この南学園には皆さんの成長をサポートしてくれるいわば「土」があります。入学してくださる皆さんを「種」とするならば、この土を利用してどのよう伸びるか次第です。ぜひ、一緒にこの南学園で学びませんか。



理学療法学科一年 御供田美羽

私は、社会人を経験して本校に入学しました。久しぶりに学校生活を送る上で不安や緊張もありましたが、入学から三か月が過ぎる今、理学療法士になるという同じ志を持つ仲間たちと助け合い、ともに切磋琢磨しながら、三年後の国家試験合格に向けて頑張っていきたいという思いが強くなっています。

理学療法学科では、医療人として必要な知識や技術を多く学びます。七月には一週間の見学実習がありました。病院や介護老人保健施設に勤務されている理学療法士の先生方の仕事を間近で見学したことで、仕事への理解が深まりました。同時に、専門学校で学ぶ知識がとても大切であるということを実感しました。

理学療法士を目指したのは、家族がお世話になったことがきっかけでした。高齢で転倒しやすかった祖母が、骨折で入院中にリハビリを受け、在宅での介護を継続できるようにしたり、母親が整形疾患で手術をした時も、退院後の生活を考慮したりハビリや助言をしていただき、スムーズに日常生活に戻ることができ、大変感謝を受けました。私も家族の経験を通して、社会の役に立てたいと思いました。そして昨年、本校で行われたオープンキャンパスに参加し、先生方や先輩方とお話しさせていただいたことで入学後のイメージができ、本校へ入学したいという気持ちが固まりました。

理学療法士という仕事に就き、患者様の支えとなるためには、多くの知識を身につけることが必要です。専門分野は覚えることも多く大変ですが、同じ夢を目指す仲間たちが、ここにはいます。学校生活を支えて下さる面倒見の良い先生方、優しい先輩方がいらつしやいます。多くの方々に支えられながら、学校生活を送ることができていることに感謝しています。

本校は、新入生歓迎会や学園祭などのイベントも数多く計画されており、楽しく学校生活を送れます。国家試験対策は授業以外にも学習到達度を確認するための試験が随時組まれています。フットワークの特別授業やチャレンジセミナーもありです。不十分な点は先生方に気軽に質問・相談することができ、学びやすい環境が整っています。皆さんと一緒に学べる日が来ることを楽しみにしています。



介護福祉学科一年 月野木真尋

私が介護福祉士になろうと決心した理由は二つあります。一つ目は、一生を通して仕事ができる職業だと思ったからです。二つ目は高校生の頃に所属していた部活動がきっかけです。私はものづくり部木工班に所属していました。そこでは学校内外からの木工製品の依頼品の製作、かんなの削りくずで作る造花のワークショップなど様々なことを経験しました。ものづくり部で得た技術をレクリエーションに生かしたいと考えたからです。また、地域の方々とコミュニケーションを取っていく中で、もっと多くのコミュニケーションを必要とする職業に就きたいと考えたことも理由の一つです。

介護福祉士の資格取得に向けて、多くの専門学校があります。その中でも本校を選んだ理由は、医療福祉を学ぶ専門学校として歴史があることに加え、介護福祉士の国家試験に対して高い合格率を誇っていたからです。本校に入学して半年が過ぎようとしています。当初は、専門教科の授業や、長い通学時間に慣れず疲れることも多い日々を過ごしていました。しかし、今ではそれらにも少しずつ順応できるようになりました。クラスメイト間での情報交換や先輩方からのアドバイス、先生方からの手厚い指導を受け忙しくも充実した毎日を送っています。

また、夏期休暇では自前でポイントメントを取り、通所介護事業所のボランティアに参加させていただきました。多くの利用者様とコミュニケーションを取る中で、中々会話が弾まなかったり、相手によって話し方などのテンポや方言の強さが違ったりして難しかったです。勉強だけでなく、文化や地域のことについて知っておくべきだったと反省しました。

最後になりますが、鹿児島医療福祉専門学校では、国家資格取得に向け必要な知識、技術を学ぶことができます。また、クラスメイトの中には、社会経験を経て入学した方もおり、働く際に必要な知識や経験を学ぶことも多いです。

本校の環境の中であれば、自信を持って勉強に励むことができます。介護福祉士を目指すす皆さん、是非、入学をお待ちしています。



# 「保健医療2035」と建学の理念「真愛」



歯科衛生学科非常勤講師 高齢者歯科学担当 長岡 英一

平成28年度診療報酬改定の基  
本方針には『2035年に向け  
て保健医療の価値を高めるため  
の目標を掲げた「保健医療20  
35」も踏まえ、「患者にとつ  
ての価値」を考慮した報酬体系  
をめざしていくことが必要であ  
る。』また『特に、地域包括ケ  
アシステムや効果的・効率的で  
質の高い医療提供体制の整備に  
は、質の高い人材を継続的に確  
保していくことが不可欠であ  
る』と記されており、2015  
年に厚生労働省が「保健医療2  
035」提言書を公表していま  
す。

提言書の内容についての大雑  
把な私の理解では、少子高齢社  
会（生産年齢人口の減少、75歳  
以上高齢者人口の増加）に向け  
て、費用対効果の観点から持続  
可能で質の高い保健医療システ  
ムを2035年までに構築する  
ことがめざされており、その過  
程の節目として2025年まで  
に地域包括ケアシステムを構築  
するとされています。

人材の質的向上が求められま  
す。  
健康寿命が延伸しつつあると  
はいえ、上述の75歳以上高齢者  
人口の増加は、要支援・要介護  
者の増加、それに伴う治療の難  
度・リスクの増加を意味してお  
り、その現場では、上述の医療  
の高度化に対応した業務に従事  
し、行える業務の拡大や多職種  
連携に対応し、地域包括ケアの  
一角を担う能力が求められま  
す。特に生活の場における在宅  
医療では、病院医療におけるエ  
ビデンス・ベイスト・メディス  
ン（エビデンスに基いた医療）  
とは異なり、ナラティブ・ベイ  
スト・メディスン（物語と対話  
に基づく医療）を重視した患者  
に寄り添って生活を支援する対  
応が必要です。

「患者にとつての価値」が人  
としての尊厳ある生活を全うで  
きることにあるとすれば、その  
生活を支援する能力は、まさに、  
本学の建学の理念である「真  
愛」を求めて研鑽する姿勢によ  
り醸成されるものと確信してい  
ます。

## — 歯科衛生学科 — 感謝に満ちた「戴帽式」

九月二十日、本校講堂におい  
て、来賓、保護者、一年生ほか  
学校関係者が見守る中、歯科衛  
生学科二年生の戴帽式が実施さ  
れました。戴帽生一人ずつ井上  
学科長からナースキャップを戴  
き、キャンドルの灯火に照らさ  
れながら「歯科衛生士憲章」を  
戴帽生全員で唱和しました。そ  
の後、学校長式辞、来賓祝辞を  
頂き、改めて歯科衛生士になり  
たいという決意が生まれたよう  
です。

磨いていき  
たいです。  
十月からの  
臨地実習で  
は学校で学  
べないこと  
を多く学び  
たいです。  
これからの  
実習や試験  
等へこた  
れそうに  
なった時、  
今日の事を  
思い出し  
て、キャッ  
プの重みを胸に刻んで、自分ら  
しく成長していきたいです。」  
と決意を述べました。



## 格調高く 新たな決意で

### — 看護学科 — 誓いを胸に「宣誓式」

十二月より開始する臨地実習  
を前に看護学科二年生の宣誓式  
が行われました。式では、入学  
当初から描いていた「目指す看  
護師像」に対して、自身の心の  
成長を振り返り医療人となるた  
めに新たに、保護者及び来賓参  
列のもとナイチンゲールの灯火  
をいただき、一人ひとりが宣誓  
を行います。

じずにはいられません。「患者  
様に寄り添う」「信頼される」「命  
を敬う」これらの言葉に心から  
エールを送ります。



## 絆の会

絆の会に参加して

歯科衛生学科一年 森 詩恵  
二日間の清掃や調理そして学  
習タイムを通して先輩方と先生  
方との距離がグンと縮まった気  
がします。更に学習タイムの実  
習で先輩のようになりたいと強  
く思いました。感謝と恩返しを  
したいとの気持ちが強くなり、  
気持ちを引き締めて二学期から  
も頑張ろうと思いました。

理学療法学科一年 下舞 翔  
絆の会に参加しました。解剖  
学の勉強をしたり、霧島散策を  
したりと充実した二日間です  
た。寝食を共にした先生や同級  
生とたくさんさんの想い出をつくる  
とともに交流を深めることがで  
きました。

介護福祉学科一年 鮫島 和奏  
私は絆の会に参加し、皆と協  
力して活動することで、より絆  
を深めることができたと思いま  
す。先生から勉強のアドバイス  
などをしていただき、友人と実  
習の話などをして、とても充実  
した二日間でした。学校生活で  
の良い思い出になりました。





今年の学園祭も実習や終講試験などの多忙な中で慌しく準備が行われましたが、各学科、各クラスで催し物・学術展示等について話し合いを重ねながら、クラス一丸となって精一杯取り組んできました。学園祭の内容は、学術部門として、研究発表・ポスター展示・体験コーナーを、エンターテインメント部門として、M-1グランプリ・学生バンド・屋外テントでの模擬店、そして今年から取り入れた仮装大会などを企画しました。

学園祭実行委員長  
理学療法学科二年

田中 孝治



メイン会場の体育館では、開会式に引き続き、各学科による研究発表が行われました。各学科ともそれぞれの学科の特色を活かしたとても素晴らしい研究発表で、全ての研究内容が興味深いものでした。この取り組みについて、学校長からお褒めの言葉を頂きました。また授業や実習で学んだ技術を来場者に披露する体験コーナーも各教室に設けられ、看護学科のバイタル測定、歯科衛生学科のブラッシング指導、理学療法学科のマッサージ、介護福祉学科の風船バレーなど、各会場が多くの来場

# 大盛況！ 学園祭

者で賑わい、いずれも盛況でした。さらに屋外テントで行われた模擬店も多くの人で賑わい、こちらも大盛況でした。体育館では、学生バンドや先生方のライブ演奏が行われ、とても素晴らしかったです。そして、例年大盛況のメインイベント、ステージ上での「M-1グランプリ」は大いに盛り上がり、各クラス限られた中での準備、練習でしたが、それぞれの出し物の完成度の高さに驚かされました。とても素晴らしい舞台になったと思います。今年から導入された仮装大会



では、学生による個性的な仮装が数多くみられ、前年度に比べて、雰囲気は明るくなったような印象を受けました。多くの方々からお褒めの言葉を頂き、大成功だったと思います。今年の学園祭を成功裏に無事終えることができたのは、当日のみならず、それまでの約一ヶ月間、毎日のように準備に取り組んだ実行委員だけでなく、各学科・クラス代表・先生方の協力の賜物であり、皆さんに心よりお礼申し上げます。この学園祭を機に先輩・後輩間や各学科間・学生・教員間の交流とクラスノの団結が一層深まることを期待します。



## 第41回九州ブロック 専門学校体育大会 鹿児島大会

同大会が「つなげ絆、九州はひとつ」のスローガンのもと、11月13日から15日にかけて開催されました。初日鹿児島アリーナで盛大に開会式が行われ、九州各県から15000人を迎えた。11の競技が6会場で開催されました。

本校の結果については、県大会とあわせて次の通りです。(上位入賞のみ)

- 県専門学校スポーツ大会**
- 【優勝】バドミントン女子団体
- 【準優勝】
  - (団体) テニス男子
  - ソフトテニス女子
  - (個人) テニス男子 (P2内田涼)
  - バドミントン女子 (P1島中向日葵)
- 【3位】
  - (団体) バレーボール女子
  - バスケットボール男子
  - (個人)
    - 卓球男子 (P2青山聡)
    - 卓球女子 (D1出永紗彩)
    - バドミントン女子 (P2上原桃花)
- 九州ブロック大会**
- 【準優勝】バドミントン女子
- 個人 (P1島中向日葵)



九州ブロック大会 開会式

### 放送大学との連携がスタートします。

希望者は、放送大学とのダブルスクールで、4年で大学卒(学士)の資格が可能に。ダブルスクール型(専修学校3年課程の場合)

専門学校	1年次	2年次	3年次	<修了>
	↓			
放送大学	全科履修生 1年次	2年次	単位認定 3年次	4年次 <卒業>

(最大60単位認定)

詳しくは学校へ問い合わせください。

### 高等教育の修学支援新制度の対象校として認定されました

2020年4月から新制度がスタート。学びたい気持ちを応援します。

授業料・入学金の **免除/減額** + 給付型奨学金の **支給**

(対象) 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

### 今後の一般・社会人入学試験日程

入試区分	出願期間	試験日
一般3次	12月16日(月)~1月28日(火)	2月1日(土)
一般4次 ※(注)	2月3日(月)~3月3日(火)	3月7日(土)
一般5次 ※(注)	3月9日(月)~3月19日(木)	3月24日(火)

※(注) 定員に達した学科は募集を中止する場合があります。出願前にホームページや電話で確認してください。

☆ 詳細は「2020年度学生募集要項」をご覧ください。

ホームページ (パソコン) <http://www.minami.ac.jp/>  
 南学園 (携帯) <http://www.minami.ac.jp/mobile>

### 社会人入学生に朗報！ 「専門実践教育訓練の教育訓練給付金」制度 厚生労働省が本校4学科を認定

対象となる社会人入学生の入学料や授業料、一部納入金の70% (3年間で上限168万円) の給付が受けられる制度です。本校の助産学科、歯科衛生学科、理学療法学科、介護福祉学科でこの教育訓練給付金を受けることができます。是非、この制度を活用して本校へ入学されることを期待しています。

◎令和2年3月20日(金) オープンキャンパス開催